

高校日本史プリント (過去問類似)

原始・古代 No.3

名前

得点

/10

問1 12世紀初頭、陸奥国の平泉を拠点に繁栄した奥州藤原氏が、地方に伝播した浄土教信仰を背景に建立した、内外を皆金色に装飾した代表的な阿弥陀堂建築を何というか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 醍醐寺五重塔 2. 浄瑠璃寺本堂 3. 中尊寺金色堂 4. 平等院鳳凰堂

問2 8世紀前半から半ばにかけて在位し、社会的不安を仏教の力によって鎮めようとして国分寺建立の詔や東大寺大仏造立の詔を出したほか、土地制度の改革として墾田永年私財法を制定した天皇は誰か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 孝謙天皇 2. 聖武天皇 3. 元正天皇 4. 元明天皇

問3 平安時代初期に最澄や空海らによって唐から伝えられた仏教の体系で、神秘的な呪術や加持祈祷を通じて災厄を払い、現世での幸福 (現世利益) を追求する特徴を持ち、現世の繁栄を願う貴族たちの間で深く信仰されたものを何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 天台 2. 顕教 3. 真言 4. 密教

問4 嵯峨天皇の時代に、律令の規定を補足・修正する法令や施行細則を体系的に整理して編纂され、その後の法典編纂の先駆けとなった法典は何か。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 貞観格式 2. 弘仁格式 3. 三代格式 4. 延喜格式

問5 3世紀中頃から後半にかけて大和 (現在の奈良県桜井市) に築造された、出現期を代表する巨大な前方後円墳である。墳丘の長さは約280mに達し、後円部に対して撥 (ばち) 状に広がる前方部が西南西の方向を向いている、邪馬台国の女王・卑弥呼の墓とも目される古墳は何か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 石舞台古墳 2. 箸墓古墳 3. 大仙古墳 4. 造山古墳

問6 7世紀から9世紀にかけて派遣された遣唐使の航路は、当初は朝鮮半島の西海岸沿いを進む安全なルートがとられていたが、8世紀に入るとある国家との関係悪化に伴い、東シナ海を横断する危険なルートへの変更を余儀なくされた。この航路変更の要因となった、当時日本との緊張関係が高まっていた朝鮮半島の国家は何か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 高麗 2. 新羅 3. 百濟 4. 任那

問7 聖武天皇は、社会の動揺を仏教の力によって鎮めようとし、国分寺・国分尼寺の建立の詔に続き、巨大な仏像の造立の詔を出した。この仏像は、当初は近江国の紫香楽宮で造立が開始されたが、のちに都が平城京に戻されると、東大寺の本尊 (大仏) として完成にいたった。この仏像の名称として最も適当なものを答えよ。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 盧舎那仏 2. 日光菩薩 3. 月光菩薩 4. 千手観音

問8 古代の律令国家によって編纂された『日本書紀』から『日本三代実録』に至る一連の正史は、中国の史書の影響を強く受けている。これらの歴史書において採用された、出来事を年代順に記述していく叙述形式を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 断代史 2. 編年体 3. 紀伝体 4. 国別体

問9 9世紀初め、平城太上天皇と嵯峨天皇の対立を背景に、平城京への復都を目指した藤原仲成らが拳兵を凶って失敗する事件が起こった。この事件を契機に、嵯峨天皇は機密保持と迅速な命令伝達のために蔵人頭を設置し、天皇の命令が太政官へ伝達される体制を整えた。この、のちに蔵人所が設置される契機となった政争を何というか。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 安和の変 2. 承和の変 3. 昌泰の変 4. 葉子の变

問10 律令制の再建が進められるなか、百姓の負担軽減などを目的に、桓武天皇の時代に一部の国を除いて諸国の軍団が廃止された。これに代わって、郡司の子弟などの志願者から組織され、地方の治安維持や国府の警備にあたった少数精鋭の軍事組織を何というか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 軍団 2. 健児 3. 衛士 4. 防人

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 3 中尊寺金色堂	奥州藤原氏の初代清衡によって平泉に建立されたこの建築は、地方に伝播した浄土教信仰の影響を強く受けた代表的な阿弥陀堂建築である。堂の内外が金箔で覆われ、螺鈿や蒔絵などの工芸技術が凝らされており、当時の奥州藤原氏の強大な富と権力、そして極楽浄土への憧憬を象徴している。
問2	答え 2 聖武天皇	鎮護国家の思想に基づき、国分寺建立の詔や東大寺大仏造立の詔を出した。また、その治世には墾田永年私財法が制定され、土地制度が大きく転換した。養老律令の施行は、この天皇の退位後である757年（孝謙天皇の時代）に行われた。
問3	答え 4 密教	平安時代初期、最澄や空海が唐から伝えた天台宗や真言宗は、加持祈祷によって病氣や災いを除き、現世での幸福を祈る現世利益の側面を強く持っていた。この呪術的な要素が、現世の繁栄や災厄回避を強く望む平安貴族の需要と合致し、彼らの間で広く受容された。この仏教の体系を密教と呼ぶ。
問4	答え 2 弘仁格式	嵯峨天皇の時代に編纂された弘仁格式は、律令を補足・修正する「格」と施行細則である「式」を体系的に整理した最初の法典であり、その後の貞観格式や延喜格式へと続く三代格式の端緒となった。
問5	答え 2 箸墓古墳	3世紀中頃から後半にかけて、奈良盆地東南部の地に突如として出現した巨大な前方後円墳が箸墓古墳である。墳丘長は約280mに及び、それまでの弥生時代の墳丘墓とは一線を画す規模を持つ。前方部が撥状に広がり、西南西を向いている特徴的な形状をしており、時期の近さから『魏志』倭人伝に記された卑弥呼の「径百余歩」の冢（墓）に比定する説が有力視されている。
問6	答え 2 新羅	遣唐使の航路は、当初は朝鮮半島沿岸を進む安全な「北路」がとられていた。しかし、8世紀に入ると日本と新羅との関係が対立・悪化したため、新羅沿岸を通るルートの利用が困難になり、東シナ海を横断する危険な「南路」や「南島路」をとるようになった。
問7	答え 1 盧舎那仏	聖武天皇は、天災や藤原広嗣の乱などによる社会の混乱を仏教の力で収めようとする鎮護国家の思想に基づき、743年に造立の詔を出した。当初は近江国の紫香楽宮で造立が開始されたが、都が平城京に戻った後、東大寺において完成し、752年に開眼供養会が行われた。この本尊となったのが盧舎那仏（盧舎那仏像）である。
問8	答え 2 編年体	六国史はすべて、出来事を年月日の順を追って記述する編年体で書かれている。これに対し、人物の伝記や制度ごとに記述する形式は紀伝体と呼ばれ、中国の『史記』などで用いられたが、日本の六国史では採用されなかった。
問9	答え 4 薬子の変	嵯峨天皇と平城太上天皇（平城上皇）の対立を背景に、平城上皇の復権と平城京への復都を企てた藤原薬子や藤原仲成らが挙兵に失敗した事件である。この事件を機に、嵯峨天皇は機密保持と迅速な命令伝達のために蔵人頭を設置し、天皇の命令が蔵人所を通じて太政官に伝達される体制が整えられた。別名「平城太上天皇の変」とも呼ばれる。
問10	答え 2 健児	八世紀末の桓武天皇の時代、軍団の維持が百姓の大きな負担となっていたことから、辺境（東北や九州）を除いて諸国の軍団と兵士が廃止された。これに代わり、郡司の子弟や有力農民の志願者からなる少数精鋭の兵力として健児が組織され、地方の治安維持や国府の警備を担った。健児は防人のように東国から九州へ派遣されるような性質のものではない。